

令和8年 第2回 菊池市議会定例会 一般質問一覧表

質問日	通告番号	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
令和8年 6月24日 (水)	1	牧 俊郎	1 選挙、選挙公費から見える諸課題について	(1) 低投票率対策をどうするか。 (2) 選挙公費負担の現状はどうなっているか。 (3) 選挙公費などの節減による財源を広く公平に使えないか。 (4) 財政運営の中の節減対策をどう考えているか。	市長 教育長 選管委員長
			2 人口問題について	(1) 人口動態を確かめたい。 (2) 外国人に頼らない人口増対策をどう考えているか。 (3) 人口の自然増対策をどう考えているか。	
			3 介護問題について	(1) 介護人材不足に対する抜本的対策は何か。	
	2	森山 章	1 小学校の体育館空調設備の計画及び子供への熱中症対策について	(1) 何年後に小学校へ設置でき運動できるのか。 (2) 他の地域より遅れている理由は。 (3) 体育の授業・地域の活動での使用時、熱中症対策は講じられているのか。	市長 教育長
			2 地域通貨型商品券のデジタル化について	(1) 現状のめぐるん券が配付できるまでの位の差があるのか。前回の児童手当の受給対象年齢の方のめぐるん券の使用率等も伺いたい。 (2) デジタル商品券も一つの方法として考えられないか。	
	3	島 春代	1 学校への給水スポット設置について	(1) 小中学校における熱中症対策の状況と課題についての認識は。 (2) マイボトルへの水分補給への対応と学校現場や保護者からの給水スポット設置の声はないか。 (3) 学校へのマイボトル用の給水スポット設置を進める考えはないか。	市長 教育長
			2 不登校児童生徒への給食提供による支援について	(1) 不登校の児童生徒の現状は。 (2) 校内教育支援センターを活用した給食提供と効果についての認識は。 (3) 小学校給食無償化による支援との公平性の観点から、給食を利用していない家庭への支援は。	
			3 高齢者の補聴器購入助成について	(1) 加齢性難聴に悩む高齢者の実態把握はされているか。 (2) 難聴による心身への影響についてどのような認識か。 (3) 高齢者への補聴器購入の助成をする考えはないか。	
			4 子どもの居場所づくりについて	(1) 小学高学年から中学生の居場所づくりの必要性についての認識は。 (2) スケートボード場などの体を動かせる広場を整備する考えはないか。	
	4	緒方 哲郎	1 本市農業について	(1) 現状認識と10年後の姿を示せ。 (2) 担い手確保・新規就農支援についての考えを示せ。 (3) 農地の維持・集積・耕作放棄地についての考えを示せ。 (4) 物価高騰・資材高騰への支援についての考えを示せ。 (5) スマート農業・新品種導入・環境配慮型農業についての考えを示せ。 (6) 地産地消の推進・学校給食への地元産食材の活用・環境型農業の構築についての考えを示せ。	市長 教育長 農委会長
	5	安武 睦夫	1 高齢者の尊厳と生活実態について	(1) 介護認定申請前の高齢者の実態把握と「制度の谷間」対策は。 (2) 年金収入・保険料負担と高齢者の経済的尊厳は保たれているか。 (3) 独居高齢者等のごみ出し支援のその後の状況は。	市長 教育長
			2 小学校運動部活動の社会体育移行について	(1) 社会体育移行後の現在の施設使用料の取り扱いの状況は。 (2) 就学援助の児童に対する支援の状況は。 (3) 指導者報酬への補助と研修体制の整備状況は。 (4) 社会体育移行後の検証体制の状況は。	
6	福島 英徳	1 河川管理について	(1) 契約書及び協議書に基づく履行状況、検査体制並びに委託先選定の妥当性について問う。 (2) 大型乗用草刈機の無償貸与に係る修繕費の原資及び財産管理の妥当性について問う。	市長 教育長	
		2 多文化共生社会への対応について	(1) 外国人住民の現状及び今後の見通しは。 (2) 多文化共生に関する本市の取組及び課題認識について問う。 (3) 宗教的・文化的配慮を要する課題への対応について問う。 (4) 外国人住民に対する生活ルールや地域慣習の周知はどのように行うのか。		
7	荒木 崇之	1 竜門ダムの工業用水利用について	(1) 竜門ダムの工業用水の供給についての事業概要を示せ。 (2) 送水することで、菊池市にはどのようなメリットがあるのか。	市長	
		2 本市の住宅政策について	(1) 菊池市宅地開発事業補助金制度とはどのような制度か。 (2) 上下水道整備の補助金については、どのようなものがあるか。		
8	田崎 奈々	1 防犯カメラの設置について	(1) 現在の防犯カメラの設置状況と運営の実態について問う。 (2) 補助対象者の管理運営における負担と課題について問う。 (3) 防犯カメラ設置補助金制度の個人を含めた拡充について問う。	市長 教育長	

令和8年 第2回 菊池市議会定例会 一般質問一覧表

質問日	通告番号	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
令和8年 6月26日 (金)	9	高崎 匡史	1 中学校の給食費無償化について	(1) 給食費の、保護者負担の現状はどうなっているか。また、県内市町村の給食費無償化の実施状況はどうか。 (2) 義務教育は無償である。給食も教育の一環と考えているが、この認識はあるか。 (3) 中学校の給食費も無償化にするべきだと考えるがどうか。	市長 教育長
			2 高齢者の補聴器補助について	(1) 難聴は認知症の危険性を高める危険因子であるとの専門家の指摘がある。この点について菊池市の見解はどうか。 (2) 熊本県内でも補聴器助成が広がっているが実施状況はどうなっているか。 (3) 高齢者社会の中で認知症などの健康リスクを減らすことにもつながる補聴器購入に対する助成を行う考えはあるか。	
			3 農業について	(1) 現在の国内外の情勢で、物価高騰などで農畜産業の経営は大変苦しくなっている。経営状況の聞き取り調査の有無や方法、結果・分析をどのようにやっているのか。 (2) 今議会の議案に、物価高騰対応重点支援事業が入っているがこれだけでは不十分である。市独自の追加の支援事業や直接支援などをすべきではないか。	
	10	菊池 みどり	1 菊池市における不登校児童生徒及び保護者に対する支援について	(1) 不登校の定義について問う。 (2) 菊池市の不登校児童生徒数の推移について問う。 (3) 不登校となる主な要因をどのように分析しているか。 (4) 現在行っている児童生徒及び保護者への支援内容について問う。 (5) 学校以外の居場所や学び場との連携状況について問う。 (6) 不登校児童生徒及び保護者が相談しやすい体制づくりについて、市の考えを問う。	市長 教育長
			2 菊池市の救急医療体制について	(1) 年間救急搬送件数及び市内・市外搬送の状況について問う。 (2) 搬送先決定に時間を要する主な要因について問う。 (3) 市民が不安を感じないための救急医療体制について、市はどのように認識しているか。 (4) 救急医療体制の改善に向けた取組を県に要望できないか。	
	11	田中 教之	1 災害対策について	(1) 消防団のドローン導入について進捗状況を示せ。 (2) 災害時における、市の業務維持にかかる通信インフラとデータのバックアップ体制を示せ。 (3) 災害時の通信インフラの確保のために非常時衛星通信の整備をする考えはあるか。	市長 教育長
2 食育と地産地消の推進について			(1) 今回の食育基本法の改正についてどのように理解されているか。 (2) 学校や学校給食における取組状況を示せ。 (3) 食育と地産地消を連携させた取組はあるか。 (4) 食育だけでなく、「菊池市食育・地産地消推進計画」を策定する考えはあるか。		
12	古田 浩敏	1 七城地域の硝酸性窒素濃度が高い地域への対応について	(1) これまでどのような対応をしてきたか。 (2) 住民からの声はどのようなものがあるか。 (3) 今後どのような対応を考えているか。	市長	
		2 七城赤北地域の道路とほ場の高い法面の草刈りについて	(1) 道路の法面の所有はどこで草刈りはどこがやっているか。 (2) 草刈り機の補助はできないか。		
令和8年 6月29日 (月)	13	東 英俊	1 農業問題について	(1) 経営所得安定対策におけるWCOSの取扱いについて問う。 (2) 畜産農家(特に、酪農、和牛繁殖農家)への助成状況は。 (3) 昨年度の農地等災害復旧事業の進捗状況は。	市長
			2 高齢者支援について	(1) 高齢者の免許返納の状況把握はなされているか。 (2) 耳の聞こえの悪くなった高齢者の方への対策は。	
	14	木下 雄二	1 防犯灯、街路灯、カーブミラー等の整備状況について	(1) 地域住民の安全な生活を守る為のカーブミラー、特に過疎化、高齢化の中山間地域については、LED化による防犯灯の負担軽減が必要だが対応の現状は。	市長
			2 学校跡地の活用の現状と地域貢献について	(1) 迫水小跡地を含む各学校跡地の地域活性化等の地域貢献の現状は。	
			3 農地等災害復旧事業について	(1) 昨年の国庫補助、小災害復旧事業補助金の交付状況と復旧の進捗状況は。	
			4 道路整備について	(1) 森林環境譲与税等を活用した予防伐採の現状及び国道、県道、市道のせりだした危険木等の対応の現状は。	
5 菊池遺産の現状について	(1) 菊池遺産は菊池市の自然や歴史及び伝統文化を次世代に継承する為に市民と共に行政が保護活用する事になっているが現状は。				
6 国道387号沿いの追尾型太陽光発電事業について	(1) 迫間地区における追尾型太陽光発電事業の地域住民の不安解消への安全確保と生活環境の保全の対応は。				